

## 「経営学部創設記念論文集」の発刊にあたって

1999年4月、奈良産業大学経営学部経営学科が創設された。本学創立時（1984年）からの経済学部経営学科を改組転換しての設置である。

新経営学部は、近來の経営学の新しい発展に応じて、「経済学」から独立して「経営学」を研究教育するのが目的で、奈良県ではじめての新しい視点による経営学部の創設である。すなわち、新学部は、経営学の「社会的性格」と「技術的特徴」との統合を標榜し、この視座にもとづいて経営学教育を推進しようとするもので、現代社会での新しい「企業経営の在り方」や「企業管理の技法」を系統的に教え、企業経営のスペシャリストの養成を目指している。

そのため、経営学部では、経営学教育の基礎である「経営」コースと「会計」コースに、最新の「情報」コースを加えた三コースを設け、また最近の流通問題の重要性から、経営コースに「マネジメント」と「マーケティング」の二部門を配し、「三コース・四部門」制をとり、それぞれの専門に特化したカリキュラムの編成を行っている。

そして、カリキュラムの特徴としては、まず、これからの「持続可能な社会」（サステナブル・ソサイエティ）を目指し、「企業と社会の共生」をもとめて、各コースにそれぞれ「経営倫理学」・「社会関連会計論」・「ネットワーク社会論」を開講したこと、また、情報化社会のもと、「制御システム論」・「電子機器論」（専門教育科目）や、「先端科学技術論」・「エネルギー科学」（一般教育科目）を新設したこと、さらには「総合講座」（学際講座）として「奈良文化論」や「環境論」などを充実したことなどである。

現代は国際化・情報化・社会化の時代といわれ、このような時代背景のもと、経営学も大きく発展を遂げようとしている。このようなとき、新しい教育理念のもと、「経営学部」が発足し、このたび経営学部スタッフによる「経営学部創設記念論文集」が発刊されることとなった。この記念号を契機として、新学部が大いに発展し、内外の経営学界において指導的役割を担うことを期待したい。

賀学部創設（学部ノ創設ヲ賀ス）

経営新設就（経営新設就リ） 慶賀誕辰筵（慶賀ス誕辰ノ筵）

学部開創志（学部開創ノ志） 誠心後世伝（誠心後世ニ伝エン）

（平起・下平声一先韻）

1999年9月

奈良産業大学経営学部長

山 上 達 人